（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス　まはろ高良			
○保護者評価実施期間	R7年　2月　10日		～	R7年　2月　28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	R7年　2月　10日		～	R7年　2月　24日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○訪問先施設評価実施期間	R7年　2月　10日		～	R7年　2月　28日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	3	（回答数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　3月　10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスで普段から利用している事業所・スタッフが保育所等へ訪問するため、より利用児に合った支援方法の提供ができる。	保育所等訪問で共有した支援内容や学習内容にそって放課後等デイサービスの活動内でも連携した支援。	より細かな情報共有を行い、授業の進捗に沿った復習と連携した声かけを行うこと。
2	学校での様子を保護者は知り、ご家庭や事業所での様子を保育所等は知り、保育所等、保護者、事業所の相互的な情報共有が密にできる。	それぞれの困り感を聞き出せるような対話。 それらをもとにした支援計画の作成。	関係機関との連携を密に共通の将来像の認識を持った支援を行えるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児以外の児童がざわついてしまうこと。	保育所等訪問支援員が目立ってしまう。	他の児童ともコミュニケーションをとり、環境になじめるようにする。
2	保育所等訪問支援の正しい制度理解が関係機関に広まっていないこと。	保育所等訪問支援の制度を正しく理解してもらえるような詳細な説明ができていない。	ガイドラインとは別のかみ砕いた説明ができる資料を作成する。 支援員の制度理解をより深める。